國學院大學學術情報リポジトリ

2016年度のトピック4 国学研究会・社家文書研究会

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 齋藤, 公太 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00001908

国学研究会・社家文書研究会

研究事業「『國學院大學 国学研究プラットフォーム』の展開—明治期の国学・神道関係人物を中心に—」では、2016年度も定例の国学研究会と社家文書研究会を開催した。以下はその報告である。

国学研究会

本研究会は日本文化研究所のスタッフが中心となり、国学・神道などの研究を専門とする学内外の若手研究者や大学院生も参加して開催されているものである。毎回研究事業に関連する発表や、各自の研究に関する発表を行っている。2016年度はAMC棟5階のプロジェクトルーム2を会場として、全9回開催された。各回の開催日時と発表者、発表題目は以下の通りである。

- ①2016年5月12日18:30~20:00
岩田枝里香「明治期における御嶽信仰の編成」
- ②2016年6月13日18:30~20:00
岩田枝里香「明治初期の御嶽信仰の一考察」
- ③2016年6月23日18:30~20:00
三ツ松誠「『開国』と国学的世界観」(歴史学研究会事前報告会)
- ④2016年7月21日18:30~20:00
齋藤公太「明治期における『神皇正統記』の受容史と近代国学」
- ⑤2016年9月29日18:30~20:00
寺田光之「宗教論と国家主義・普遍主義の結合—井上哲次郎の著作を用いて—」
- ⑥2016年10月28日18:30~20:00
小田真裕「気吹舎門人研究の論点—下総の事例を手掛かりに—」

- ⑦2016年11月30日18:30~20:00
栗原正東「近世における熊野本願所の意義」
- ⑧2017年2月16日18:30~20:00
古畑侑亮「明治10年代における好古の知識と国学ネットワーク—小室家文書の書簡史料の分析を中心に—」
- ⑨2017年3月16日18:30~20:00
松本久史「2015年の回顧と展望 近世宗教関係」

以上のうち、①と②は修論構想の発表、③は歴史学研究会日本近世史部会2016年度大会での報告の予行演習となるもの、また⑥と⑨は近世の国学や宗教の研究状況についての報告であった。国学研究会が多様な役割を果たす場となりつつあることがうかがえる。

社家文書研究会

2016年度も前年度に引き続き、井上家宛気吹舎書簡の読解と翻刻を進めた(書簡の詳細については本誌第9号所収の「国学研究会・社家文書研究会」を参照)。

- ①2016年12月21日18:30~20:00
井上家宛気吹舎書簡10(担当:齋藤公太)
- ②2017年1月19日18:30~20:00
井上家宛気吹舎書簡11(担当:栗原正東)

これらの書簡からは、気吹舎の出版活動に対する井上頼圀の支援の様子などをうかがい知ることができた。

(齋藤公太)